

(別記第 1 号様式)

平成 22 年 3 月 15 日

財団法人前田一步園財団

理事長 前田 三郎 殿

住所 札幌市厚別区厚別中央 1 条 7 丁目 1-45 (事務局)

名称 北海道自然史研究会

代表者名 保田信紀

前田一步園財団自然環境保全活動助成申込書

下記の事業を行いたいので、前田一步園財団自然環境保全活動助成規程を熟知のうえ、同規程第 4 条の規定に基づき、助成金の交付を申し込みます。

記

1. 助成事業名 北海道内の自然史系施設のポータルサイトとガイドブックの製作
2. 助成事業概要 別紙の通り

(添付書類)

- (1) 定款、寄附行為またはこれに準ずる規定 (会則および団体概要)
- (2) 役員名簿
- (3) 業務概要書及び事業収支計算書
- (4) その他前田一步園財団の理事長が提出を求めたもの

前田一步園財団自然環境保全活動助成申請概要

1. 事業名称 北海道内の自然史系施設のポータルサイトとガイドブックの製作

2. 事業カテゴリ 調査研究 人材育成・普及啓発 (主たる事業種のみをチェック)

3. 申請団体概要 北海道の自然史研究発展と市民への普及に寄与することを目的とする

団体名称 北海道自然史研究会

法人格 財団・社団・その他 (任意団体 (NGO))

設立 平成5 (1993) 年 2 月

住所 札幌市厚別区厚別中央1条7丁目1-45 山岸ビル3階 (事務局)

電話 011-892-5306 FAX 011-892-5318 E-MAIL n-h@cho.co.jp

代表者 氏名 保田信紀 (川辺百樹) 役職 現会長 (次期会長)

担当者 氏名 渡辺 修 役職 事務局長

4. 事業実施予定期間 (事業によっては準備・計画等の期間を含む)

平成22年4月～平成23年3月

5. 事業目的 (事業を計画するに至った背景や、事業が必要と考えられる理由、事業の実施により期待される効果等を記入)

道内の自然史系施設を紹介する既存のガイドブックやウェブサイトには、施設が網羅されていない、自然史自体の情報量が少ない、担当者の顔が見えない等の課題があり、道内の自然に関心を持つ人のニーズに応えられていない。そこで当会会員の協働により道内の博物館等を網羅した使いやすいサイトと冊子を製作する。博物館友の会等市民グループ間の交流や、広域的な一斉調査等各地域の施設が連携して取り組む機会を提供し、新たなネットワークの構築にも寄与する。

6. 事業内容

会員のネットワークを通じて道内の博物館施設と自然史研究者の最新のデータベースを作成し、これをもとにポータルサイトとガイドブックを製作する。サイトでは全館の施設情報に加え、行事予定の閲覧、研究報告等の検索、ダウンロードができるようにする。地域の研究報告はデジタル化が進んでいないため、本事業でpdf化とサイトアップを支援する他、各館に蓄積されている自然情報のデジタル化を進める。一般の自然史への疑問に学芸員等が回答する掲示板も設ける。冊子はこのサイトの情報のほか、会員のコラムやミニ情報のコーナー等により一般読者が楽しめるものにする。この冊子は各施設などにおいて頒価で販売する。また来年2月にサイトと冊子を広報するイベントを企画し、道外からも先行事例の専門家を招聘して発展・連携について考える。

7. 事業実施日程

年月日	事業実施活動内容	実施場所等
2010年4月	サイト編集委員会会合	札幌市
同 7月まで	サイト掲載情報の収集・フォーマット整備	札幌市・道内各地
同 8月	サイトシステム構築・サイト臨時オープン	札幌市
同 10月まで	研究報告データベース整備・デジタル化	札幌市・道内各地
同 12月まで	データ拡張・修正、冊子コラム等執筆	札幌市・道内各地
2011年2月	北海道の自然史集積のための市民フォーラム（仮）開催	札幌市
同 3月まで	冊子の編集・印刷・各施設へ納品	札幌市

8. 事業参加者・協力団体等

参加者・協力団体名	所属団体・参加形態
北海道自然史研究会	(実施者)
北海道博物館協会学芸職員部会	情報提供、協力

9. 収入予算概要

(内訳)	(金額)	(費目)	(確定・申請中等)
自己資金	315,000	冊子販売収益 @350x900	
一步園財団助成申請額	650,000		
参加費・会費等収入	223,000	会費と寄付	
	60,000	フォーラム参加費 @500x120	
その他、助成申請額		(未定)	
合計	1,248,000		

10. 支出予算概要

(費目)	(金額)	(積算内訳)
デジタルデータ作成・サイト作成費	260,000	データ入力・研究報告デジタル化(臨時アルバイト20日x@6,500)、サイト製作・管理の補助(10日x@6,500)、冊子の編集作業補助(10日x@6,500)
印刷費・発送費	522,000	自然史系施設ガイド冊子印刷費(A5無線とじ80ページフルカラー2000部,492,000)、写真借上げ費、梱包費など
講師謝金・旅費	255,280	フォーラム講演者(東京と兵庫の予定)の謝金(2名x@40000)、往復旅費(@32,770, @46,370)、宿泊費(2名x@8500)
編集委員会旅費	81,000	冊子の編集およびポータルサイトの編集のための編集員打ち合わせ費用(市内5名x4回x@500、旭川往復@9360x3回上士幌往復@13960x2回)、宿泊費(2回x@7500)
使用料・借上料・消耗品費	66,000	冊子の編集作業、サイト製作・管理に必要なパソコン・専門ソフトウェアのレンタル料(1年間分)、消耗品費
通信費、その他の経費	63,720	打ち合わせ・連絡用の郵送費、冊子送付時の郵送費、会議費、フォーラム会場費など
(合計)	1,248,000	